

市長提出議案はいずれも可決

市議会は、11月定例会を11月29日から12月22日までの24日間の会期で開催しました。今定例会では、市長から提出された平成28年度一般会計補正予算をはじめ、袋井市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定など17議案と3件の報告が上程され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、代表質問では、4会派がそれぞれ市政に対する質問や提案を行い、市政に対する一般質問では、6人の議員が市長・教育長の見解をたずねました。

◎議決した主な議案

平成28年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業のために、1億4500万円を増額するものです。これにより、補正後の一般会計予算総額は337億1120万円となりました。

〈第4号〉(主なもの)

●経済対策臨時福祉給付金給付事業

臨時福祉給付金の対象期間を平成31年9月まで延長し、追加の給付を行うもの

●生活保護事業(扶助費)

生活保護受給者及び医療扶助費の増加によるもの

●人件費補正(市議会議員含む)

人事異動及び人事院勧告によるもの

●国の補正予算に伴う経済対策(建設)事業

●障害者自立支援給付事業(扶助費)

サービス事業所が増えたことによる利用件数の増加に伴うもの

●国県補助額決定による各種建設事業費の変更

●公債費(地方債借入額・利率確定に伴う減額)

〈第5号〉(主なもの)

●シティブロモーション費

ふるさと納税の増加に伴い、返礼品や手数料などの必要経費を増額するもの



電子黒板機能付きプロジェクターを活用した浅羽南小学校の授業風景